

松本大学 アセスメント・ポリシー

松本大学は、教育の成果を可視化し、教育の検証及び改革・改善を恒常的に実施することを目的に、ディプロマ・ポリシー (DP)、カリキュラム・ポリシー (CP)、アドミッション・ポリシー (AP) の 3 ポリシーを踏まえて評価の方針・指標 (アセスメント・ポリシー) を設け、それに基づいて学生の学修成果を測定・評価する。測定・評価は、学生の入学時から卒業時までを視野に入れて多面的に行うこととし、下記 3 つの区分・レベルごとに以下のような基本方針並びに指標を設定している。

- ・第 1 区分 大学全体 (機関レベル)
- ・第 2 区分 研究科・学部 (教育課程レベル)
- ・第 3 区分 授業科目 (個々の授業レベル)

【検証区分ごとの基本方針と指標】

1. 松本大学全体のアセスメント・ポリシー

学修行動調査並びに各種テスト、授業評価アンケート及び卒業予定者アンケート等によって、学生の学修と大学生活などに対する満足度の適宜、適切な把握に努め、その時系列的推移について検証する。また、学生が志望する進路に関して、就職率、就職満足度などから、希望を持って入学した学生の学修の成果及び達成状況を検証する。さらに、それらの結果をもって松本大学の現状を把握し、全学的な教育研究体制、学生支援体制の検証及び改革・改善に活用する。

2. 研究科・各学部のアセスメント・ポリシー

研究科・各学部における卒業要件の達成状況、単位の修得状況、GPA、国家資格試験合格状況、各種資格・検定試験の合格状況、その他外部の客観テスト等から教育課程全体を通じた学修の成果及び達成状況を検証、測定する。また、その結果をもって教育課程の検証及び改革・改善に活用する。

3. 授業科目ごとのアセスメント・ポリシー

シラバスに示した各授業科目の学修到達目標に対する評価、学生による授業評価アンケート等の結果などから、授業ごとの学修の成果及び達成状況を検証する。また、可能な授業については、プレイスメントテスト結果、期末試験及び外部テスト等を活用して学修成果の把握に努める。授業の成績評価は、科目の特性や学修到達目標等を踏まえ、各担当教員がシラバスに示した成績評価の方法・基準に沿って適切に行うとともに、その結果と授業アンケート結果なども合わせ授業改善に活用する。

松本大学松商短期大学部 アセスメント・ポリシー

松本大学松商短期大学部は、教育の成果を可視化し、教育の検証及び改革・改善を恒常的に実施することを目的に、ディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP）の3ポリシーを踏まえて評価の方針・指標（アセスメント・ポリシー）を設け、それに基づいて学生の学修成果を測定・評価する。測定・評価は、学生の入学時から卒業時までを視野に入れて多面的に行うこととし、下記3つの区分・レベルごとに以下のような基本方針並びに指標を設定している。

- ・第1区分 短期大学部全体 （機関レベル）
- ・第2区分 学科 （教育課程レベル）
- ・第3区分 授業科目 （個々の授業レベル）

【検証区分ごとの基本方針と指標】

1. 松本大学松商短期大学部全体のアセスメント・ポリシー

学修行動調査並びに各種テスト、授業評価アンケート及び卒業予定者アンケート等によって、学生の学修と大学生活などに対する満足度の適宜、適切な把握に努め、その時系列的推移について検証する。また、学生が志望する進路に関して、就職率、就職満足度などから、希望を持って入学した学生の学修の成果及び達成状況を検証する。さらに、それらの結果をもって松本大学松商短期大学部の現状を把握し、全学的な教育研究体制、学生支援体制の検証および改革・改善に活用する。

2. 各学科のアセスメント・ポリシー

各学科における卒業要件の達成状況、単位の修得状況、GPA、検定試験合格状況、各種資格・検定試験の合格状況、その他外部の客観テスト等から教育課程全体を通じた学修の成果及び達成状況を検証、測定する。また、その結果をもって教育課程の検証及び改革・改善に活用する。

3. 授業科目ごとのアセスメント・ポリシー

シラバスに示した各授業科目の学修到達目標に対する評価、学生による授業評価アンケート等の結果などから、授業ごとの学修の成果及び達成状況を検証する。また、可能な授業については、プレテスト結果、期末試験及び外部テスト等を活用して学修成果の把握に努める。授業科目の成績評価は、各科目の特性や学修到達目標等を踏まえ、各担当教員がシラバスに示した成績評価の方法・基準に沿って適切に行うとともに、その結果と授業アンケート結果なども合わせ授業改善に活用する。